

氏名	嵩末 憲子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	ソーシャルケア・ライフモデル・専門職連携				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1988年3月熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程 卒業、2000年3月日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科 博士前期課程修了、2022年3月国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了				
経歴	2003年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師 2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本介護福祉学会（査読委員）、日本保健医療福祉連携教育学会（査読委員）、日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	生活と福祉 第3章第2節「高齢者介護の考え方」 第3節「コミュニケーションと介護」	共著	あり	実教出版：P191		監）直井道子、分担執筆）牛頭潤子、 <u>嵩末憲子</u> （P.56-59、P.60-65）、下山昭夫他	2024.2
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	医療・介護連携推進のPDCAサイクルにF-SOAIPでイノベーションを	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(5)、31-35	<u>嵩末憲子</u> ・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第7回／公益社団法人調布市医師会 ちょうふ在宅医療相談室（調布市在宅医療・介護連携拠点）相談員・社会福祉士 中尾恭子・小野育美、在宅医療・介護連携拠点におけるF-SOAIP整容のチャレンジ～調布市からの発信 ACPで重要な記録共有をF-SOAIPで～	2023.4
2	F-SOAIPによりミクロ・メゾ・マクロにおける自律的なPDCAサイクルの好循環を	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(6)、33-37	<u>嵩末憲子</u> ・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第8回／社会福祉法人愛生会在宅介護支援センター愛生会 主任介護支援専門員 永田純一、自分の支援経過記録が多くの人の学びになるF-SOAIPの多様な活用法	2023.5
3	F-SOAIPのミクロ・メゾ・マクロレベルでの導入・普及の鍵～地域での研修と記録システムへの搭載～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(7)、35-38	<u>嵩末憲子</u> ・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第9回／社会福祉法人練馬区社会福祉事業団 高松居宅介護支援事業所 管理者 東澤圭祐・光が丘居宅介護支援事業所 管理者 於島文子、地域のケアマネジャーと学び合う「伝達研修」が普及の一歩に	2023.6
4	自治体の特徴に基づくF-SOAIPの活用推進～行政と複数リーダーによる協働～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、34(8)、33-37	<u>嵩末憲子</u> ・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第10回／渋谷区福祉部介護保険課介護給付係 野嶋佐津貴・松枝志織、ケアマネジメントの質向上への道 F-SOAIPによるリ・アセスメント支援シートの活用推進／アースサポート(株) 北日本・東日本居宅介護支援 地域包括スーパーバイザー 牧野雅美、叙述的な経過記録からF-SOAIP導入への行動変容を／日本赤十字社総合福祉センター 生活支援課 居宅介護支援係、横山裕子	2023.7

5	BCP等の諸課題解決に資するF-SOAIPの ミクロ・メゾ・マクロレベルの展開に向 けて	共著	なし		月刊ケアマネジメン ト、34(9)、40-43	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第11 回／メディカルホットライン(株) (さいたま 市) ひかり居宅介護支援事業所 管理者 関谷 喜代美、今後の災害や不測の事態に備えて BCPにF-SOAIP活用を提言～コロナ渦での 検証をミクロ・メゾ・マクロレベルで検討 ～／(株)ひまわり (山口県萩市) 居宅介護支 援事業所 内田陽介、F-SOAIPのBCPにおけ る有用性～利用者や家族の思いを含めた引 継ぎを実現するために～	2023.8
6	F-SOAIPを転機として未来を変えるアク ションを～法人化により協創的イノベー ションリサーチができる社会を展望～	共著	なし		月刊ケアマネジメン ト、34(10)、33-37	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第12 回／一般社団法人埼玉県ケアマネジャー協 会 宮崎和代、協会挙げてのF-SOAIP推進の 成果と展望／埼玉県立大学 保健医療福祉学 部 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 4年 生 島村祐希、実習・歯科助手経験でF- SOAIPの有用性実感～4コマ漫画を教材とし て、実習現場にF-SOAIPを届けたい～	2023.9
7	【総論】看護記録における経過記録の標 準化に向けて	共著	なし		ナーシングビジネ ス、17(10)、82-85	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 看護実践のPDCAサイクルと多職種連 携の促進を期待できるF-SOAIP①／三石佐 織、あなたの記録、看護が見えますか？	2023.10
8	自治体の職能団体がF-SOAIP導入・普及 をミクロ～メゾ・マクロレベルで支える ～地域の財産として「F-SOAIPワークシー ト」で継続的实践変容を～	共著	なし		月刊ケアマネジメン ト、34(11)、34-38	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第13 回／えびなケアマネ連絡会 役員一同及び企 画協力者、多職種実践を可視化するF- SOAIP (エフソ・アイビー) ～効率的かつ 効果的な記録方法を学び、業務の効率化と 実践の質向上に役立てよう～	2023.10
9	重層的支援体制整備事業における経過記 録法のスタンダード化～EBPMに資するF- SOAIPのデータ利活用をめざしたシステム の提言～	共著	なし		月刊ケアマネジメン ト、34(12)、38-42	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPを記録のスタンダードに 第14 回／幸手市地域包括支援センター センター 長 中田理絵、重層的支援体制整備事業への 活用を期待したいF-SOAIP～地域包括支援 センターへの調査と研修経験	2023.11
10	病院看護部におけるF-SOAIP導入のモデ ル事例について	共著	なし		ナーシングビジネ ス、17(12)、78-84	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 看護実践のPDCAサイクルと多職種連 携の促進を期待できるF-SOAIP②／下郡美 香、【施設導入事例 その1】フォーカス チャートニングからF-SOAIPへの転換／佐 藤みづほ、SOAP・フォーカスチャートニ ングからF-SOAIPへの転換	2023.12

11	F-SOAIPで協創的イノベーションを～ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるケアの実践変容を目指して～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(1)、35-39	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第1回／公益社団法人京都府介護支援専門員会 副会長 川添チエミ、介護報酬改定に向けた連携に焦点をあてて モニタリングとアsービス担当者会議へのF-SOAIP活用者／社会福祉法人同愛会 理事長 菊地月香、障害福祉サービス等報酬改定に向けてF-SOAIPで「希望する地域生活を実現する地域づくり」の根拠を／医療法人明徳会 総合新川橋病院 看護師長 平松智子、F-SOAIPによる病院からのシームレスケアの提案～介護報酬改定に期待したい経過記録法のデフォルト化（標準化）／沖縄県うるま市役所福祉部障がい福祉課 主観 目取真康裕、相談支援記録システムへのF-SOAIP導入に向けて	2023.12
12	DX時代の重層的支援体制整備事業にてPDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして	共著	なし		自治実務セミナー、738、32-37	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制整備事業にてPDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(1)	2023.12
13	F-SOAIPの実践継続が主体的なキャリアを紡ぐ～優先すべき課題（BCP）への活用は急務～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(2)、33-37	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第2回 F-SOAIPでキャリアを紡ぐ／一般社団法人埼玉県ケアマネジャー協会 地域支援部長 宮崎和代、高齢者から障害児者、さらに避難行動要支援者支援へ／ふじみ野市 高齢者あんしん相談センターかすみがおか 主任籠支援専門員 山田和子、居宅介護支援事業所の管理者から地域包括支援絵sんたーの主任介護支援専門員～F-SOAIPはケアマネジメント実践の言語化だ！～／一般社団法人埼玉県ケアマネジャー協会 地域支援部 講師 三幣千尋、F-SOAIPのキャリア形成にもたらす好影響について	2024.1
14	行政・病院記録システム標準化に向けたF-SOAIP搭載の提言～重層的支援体制整備事業を見据えた東京からの発信～	共著	なし		自治実務セミナー、739、32-38	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制整備事業にてPDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(2) 東京におけるF-SOAIP導入好事例の全国横展開に向けた自治体・病院担当者座談会（前編）～導入経緯・効果・連携～／東京都保健医療局企画部長 村本一博・東京都福祉局企画部長 山本謙治、業務負担軽減・都民サービス向上につながる情報共有ツール・F-SOAIPに期待	2024.1
15	F-SOAIPによる広域的な好事例の全国展開を～医療福祉生協連でのBCPや研修に着目して～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(3)、34-37	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第3回／鹿児島県医療生活協同組合 鹿児島生協病院生活ケアプランセンター管理者／介護課長 阿久根平、BCP策定におけるF-SOAIPの活用とソーシャルアクション／広島中央保健生活協同組合 広島市観音地域包括支援センター 主任介護支援専門員・社会福祉士 福岡博聖、F-SOAIP実践5年間の効果と伝道師の成果	2024.2

16	F-SOAIP導入好事例の協創的座談会（東京版）をイノベーションの契機に～真のDX・重層的支援体制整備事業推進に向けて鍵を握る都・システムベンダー～	共著	なし		自治実務セミナー、740、24-31	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制整備事業にてPDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(3) 東京におけるF-SOAIP導入好事例の全国横展開に向けた自治体・病院担当者座談会（後編）～記録システムベンダーへの要望・今後の展望～／電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻・教授 内海 彰、F-SOAIP導入で効率的な情報共有化と記録データの分析を	2024.2
17	F-SOAIPによる協創型イノベーションの好循環事例～ロジックモデルの活用で「理想を現実に」～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(4)、36-39	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 F-SOAIPでケアの実践変容を 第4回／リハビリ型デイサービス リハサロン祖師谷施設長 河野礼子、「困りごと」の見える化で「できる」をつなぐ科学的介護記録F-SOAIP～日々の記録からはじまる「できる」へのつながり～／国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野 教授 埴岡健一、F-SOAIPとロジックモデルとの強力な出会い	2024.3
18	虐待対応のAI化に向けF-SOAIPをシステム要件へ～多機関多職種の実践変容を期待して～	共著	なし		自治実務セミナー、742、40-46	嵐末憲子・小嶋章吾 監修 自治体実務サポート 福祉 DX時代の重層的支援体制整備事業にてPDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(4) 児童相談所及び児童心理治療施設・保育所における好事例報告～実践と研究の横展開～／久保 隆、F-SOAIPの児童相談所業務での活用可能性について／中村知英、児童相談所とF-SOAIP／田中浩之、F-SOAIPで変わる支援のあり方／上田敏丈、保育園における多職種連携のためのF-SOAIP	2024.3

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	地域共生社会実現に向けたF-SOAIPの地域定着の試み	共著	第31回日本社会福祉士会全国大会、別府市	○藤井江美他、小林美保子、野口貴生、福田華絵、 <u>嵐末憲子</u> 、小嶋章吾	2023.7
2	F-SOAIP記録法導入における行政・職能団体・開発者協働の法定外研修の実践～記録から行動変容が促され介護支援専門員の質向上と業務効率化へ～	共著	第17回日本介護支援専門員協会全国大会、宇都宮市	○藤井江美他、小林美保子、野口貴生、福田華絵、 <u>嵐末憲子</u> 、小嶋章吾	2023.10

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	ICT・IPWに資する生活支援記録法によるミクロ～マクロの革新的好循環モデル構築	研究代表者	2023.4～2024.3
2	厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業：政策科学推進研究事業）	F-SOAIPを用いた特別な支援の必要な保護者対応の記録システムの開発	研究分担者 （研究代表者：名古屋市立大学大学院 上田敏丈）	2023.4～2024.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ケアサービス論（ケアと環境Ⅰ）	○	15	執筆したテキストを用い、利用者体験課題によるグループワーク、生活アセスメント等、双方向の講義となるよう工夫した。また、実践面や研究成果をふまえ講義に還元した。ソーシャルワーク教育学校連盟作成のDVDにも所収されている障害領域の理事長をゲストに招聘し公開授業とした。
2	IPW論（大学院：前期課程）		4	初回や発表会、最終の振り返りの他、「地域共生社会時代にIPWの実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）～実践や研究でのデータ活用による変革を期待して～」を担当した。
3	福祉社会特講Ⅳ（国際社会福祉論）		1	前回までの講義内容をふまえ、第14回目「外国人介護人材受入れおよび日本式介護の海外発信」を担当した。
4	長寿保健福祉システム論①（大学院：後期課程）		1	科目責任者の補助として、認知症ケアをテーマとした院生を対象に、前年度までのAMED研究成果である「F-SOAIPを活用した認知症BPSDのAI予測や海外発信」等を教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ケアサービス演習（ケアと環境Ⅱ）	○	15	実習Ⅰや進路支援にも有用となるよう工夫し、回想法によるプロセスレコード、重層的支援体制整備事業による地域展開等のグループワークを展開した。
2	IPW演習(2開講)☒		15	科目責任者と協力して、IPW論での学びをふまえ、IPW実習に活かせるよう工夫した。次々年度までの科目責任者と情報共有しながら運営にあたり新たな教材開発を図った。
3	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	科目責任者と協力し、対面とオンラインでの授業を交互に実施し、学生の学びが今後の演習・実習・実践に活かせるよう、リフレクションに留意した。
4	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	3回ずつ4グループを担当した。現任者に求められるながら養成課程ではテキスト類も十分でない経過記録としてF-SOAIPを教授し、授業資料の一部を公開した。
5	社会福祉専門演習Ⅰ		15	卒業研究を進める過程において、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（2名）を指導した。
6	社会福祉専門演習Ⅱ		15	卒業研究の論文執筆・プレゼンを通じ、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（2名）を指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	15	新カリキュラムとして、サブの科目責任者や実習Ⅰの科目責任者および新カリ科目責任者会と協力して事前指導を進め、実習へのモチベーションを高められるよう実習課題やレポートの指導を行った。
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2024.2～2024.3 （一部学内実習を含む）	一部学内実習（オンライン）にて、科目責任者らと共に実習記録を毛体験できるよう工夫した。学外実習では新カリにて変更したプログラムや評価を実現できるよう実習巡回や帰校日指導に尽力した。実習指導者と連携を密にし、実習Ⅱのプログラム等も検討した。
3	IPW実習①		2023.8	4大学の学生を対象とし、実習指導者と連携しながら、利用者や家族や専門職とのインタビューを通じ、高い目標を達成できるよう務めた。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 0名	副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国際医療福祉大学大学院 共通科目「医療福祉面接記録法」（非常勤講師）	2023.5～2023.7 全4日間、8コマ	国際医療福祉大学大学院 公開講座 乃木坂スクールの講座「DX時代の効果的・効率的な経過記録法～F-SOAIPの基礎と応用～」を兼ねた授業で、受講者がF-SOAIP研修講師を担えることを目標とし、導入を促進できるよう前年度までの受講者に実践報告を依頼した。	
2	「専門職連携を学ぶ講座」 IPWを促進するF-SOAIP研修	2023.7～2023.9 全3日間、10コマ	本学の総合課程を見直した新たな講座の1つに、受講者がF-SOAIPの実践・教育・研究等の講師や執筆を目指したリーダー研修として位置づけられた。学外講師として共同開発者に、実践報告を乃木坂スクール修了者に依頼した。	
3	国際医療福祉大学大学院 共通科目「質的研究法各論」（非常勤講師）	2023.9-2024.1 5コマ	質的研究法としてのF-SOAIPについて、修士論文や博士論文にF-SOAIPをデータ収集や分析に活用できるよう、オムニバスとして4回分の授業を担当した。うち1回分は、F-SOAIPを質的研究法として実施した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	国際医療福祉大学大学院 公開講座 乃木坂スクール	国際医療福祉大学大学院	「DX時代の効果的・効率的な経過記録法～生活支援記録法（F-SOAIP）の基礎と応用～」全4回	2023.5～7
2	令和5年度 東京都精神保健福祉研修 相談援助力アップ研修	東京都立中部総合精神保健福祉センター	「相談援助における経過記録と多職種連携にイノベーションをもたらすF-SOAIP（エフソ・アイピー：生活支援記録法）～多様な効果の好循環を目指して～」	2023.6
3	令和5年度 えびなケアマネ連絡会研修	えびなケアマネ連絡会	多職種実践を可視化する F-SOAIP（エフソ・アイピー）～効率的かつ効果的な記録方法を学び、業務の効率化と実践の質の向上に役立てよう～	2023.7～9
4	令和5年度産業・情報技術等指導者養成事業	全国高等学校長協会家庭部会	AI・DXや共生社会を展望した医療福祉の根拠ある協働実践	2023.8
5	F-SOAIP研修 2回コース	兵庫県多可町 在宅医療・介護連携推進協議会	F-SOAIP研修(初心者コース) F-SOAIP研修(振り返りコース)	2023.9
6	うるま市F-SOAIP研修	うるま市障害福祉課	うるま市F-SOAIP研修	2024.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	一般社団法人 F-SOAIP実践・教育研究所		共同代表理事	2023.8～
2	一般社団法人 日本ソーシャルケア研究所		共同代表理事	2023.8～
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	シルバー産業新聞		「日本介護支援専門員協会（栃木開催）記録方法の実践報告 など発表」品川区小山在宅介護支援センター 藤井江美氏（共同報告）が詳細な記事として紹介	2023.11
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	多可町の他、F-SOAIPの搭載システムを活用できる自治体担当者	(株)TKC TASKクラウド福祉相談支援システム導入自治体を中心に、沖縄～山形まで約30自治体（約半数が埼玉県内）への研修支援	2023.7～2024.3

2	地域貢献活動	品川区、足立区、うるま市	F-SOAIPを行政の相談システム等の要件とする自治体との交流会を通じた情報提供等のサポート	2023.4～2024.3
3	該当なし： 研究成果の実装	フレアーズ合同会社	厚生労働科学研究費補助金「F-SOAIPを用いた特別な支援の必要な保護者対応の記録システムの開発」（研究代表 上田敏丈）の研究成果として開発した保育記録システムの教材開発と要約機能の追加等	2023.4～2024.3
4	産業支援	オールウィンシステム(株)	老人保健事業推進費補助金等 老人保健健康増進等事業による介護記録法の標準化調査研究事業に参画した施設を対象とした、F-SOAIPのICT化支援	2023.4～2024.3
5	産業支援	守秘義務のため公表不可 医療・福祉のシステムベンダー数社	科研費を通じたF-SOAIPの実践報告者を中心に、F-SOAIPが病院や福祉・介護のシステムに実装され、データ利活用できるようサポート	2023.4～2024.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携推進部会員として、専門職連携・協働講座運営担当した。		2023.4～2024.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	ヒューマンケア実習室調整を担当		2023.4～2024.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	「IPW演習」の科目責任者がローテーションできるよう、計4名にて準備を進めながら、IPEセンター（仮）の準備会に参画し、情報共有を図った。		2023.4～2024.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	四大学連携事業に参画し、IPW実習①およびIPEセンター（仮）の準備や専門職連携講座に役立てた。		2023.4～2024.3
5	学科等における委員会等	公立大学協会（大学評価委員会）として、社会福祉系部会の会議提出書類をとりまとめ、出席した。		2023.4～2024.3
6	学科等における委員会等	社福新カリキュラム科目責任担当者に参画し、新カリキュラムにおいて実習科目がスムーズに展開できるよう従事した。		2023.4～2024.3
7	学科等における委員会等	社福カリキュラム運営WGに参画し、IPE科目の調整を図った。		2023.4～2024.3
8	学生支援	4年次生学年担当として卒論の取りまとめや報告会の運営を担当した。また、社会社専門演習Ⅱ担当学生および実習担当学生への面談などを実施し、2年次生と3年次生を対象とした進路支援のイベントをサポートした。		2023.4～2024.3
9	大学広報活動	「IPWを促進するF-SOAIP研修」修了者2名（内1名は本学在籍中に受講）に月刊ケアマネジメントでの実践報告を依頼し、9月分は大学HPのトピックに掲載し、12月分は県の重層的支援体制整備事業研修等にて配布した。		2023.9、2024.2
10	大学広報活動	OCの模擬授業を担当するとともに、花咲徳栄高等学校1年生を対象に、ヒューマンケア実習室の説明を行った。		2023.6～12
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			